

令和8年産 美里地区の大豆情報 第1号

【播種準備から生育初期の管理】

宮城県美里農業改良普及センター

令和8年4月8日

TEL:0229-32-3115

FAX:0229-32-2225

<https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>

1 令和8年産栽培に向けて

(1) ほ場の準備

①排水対策 ～排水性の良いほ場を準備し、適期作業につなげましょう～

大豆は畑作物であり湿害に弱い作物です。排水不良になると湿害により播種直後は出芽不良に、その後は生育の停滞を招きます。また、中耕・培土や病害虫・雑草防除等の適期作業に支障をきたします。湿害を回避し高収量・高品質の大豆を生産するため、弾丸暗きよ及び明きよの施工を実施しましょう。

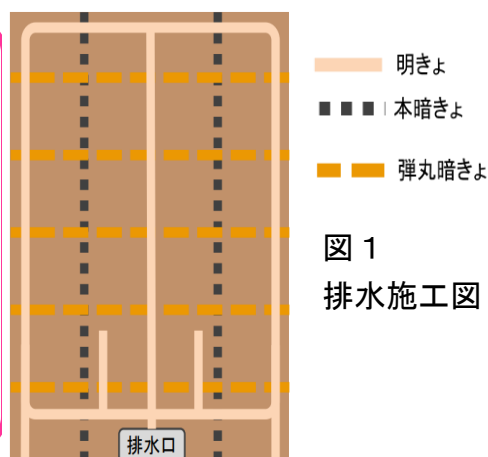
また、明きよは確実に排水口につなぎ、停滞水が確実に排出されるようにしましょう。

○地表排水…額縁明きよ、基幹明きよ

明きよは、10～30m間隔、深さ20～30cmで施工し、排水の悪いほ場では、間隔を5m以内とします。確実に排水溝につなぐようにしましょう。

○地下排水…本暗きよ、補助暗きよ（弾丸暗きよ）

弾丸暗きよは、本暗きよと直交するように2～3m間隔で、地表から40cmの位置に施工します。



②土づくり ～有機物・石灰・リン酸を施用しましょう～

大豆は地力を消耗する作物です。連作ほ場では地力の低下が大きく低収や小粒化の原因となります。地力維持の観点から堆肥を施用しましょう。また、近年は土壌の酸度(pH)が適正值(pH6.0～6.5)より低くなっているほ場が増えています。適正なpHは大豆の健全な生育に欠かせないほか、根粒菌の着生にも影響を及ぼします。

大豆は吸収する窒素の多くを根粒菌による窒素固定に頼っていることから、大豆の増収には、根粒菌の着生と活性の維持も重要なポイントとなります。根粒菌の着生にはリン酸や塩基が多く含まれ、土壌酸度が微酸性～中性(pH6.0～6.5)で腐植に富んだ土壌が適しています。

③施肥(基肥量の目安)表1 施肥量の目安

| 栽培様式 | 播種時期 | 基肥成分量 (kg/10a) | | |
|--------|-----------|----------------|-----|------|
| | | 窒素 | リン酸 | 加里 |
| 標播 | 5月下旬～6月上旬 | 1.5～2 | 5～6 | 6～8 |
| 晩播 | 6月中旬～7月上旬 | | | |
| 晩播(麦後) | 6月中旬～7月上旬 | 2～3 | 6～9 | 8～12 |

※晩播(麦後)は麦稈をすき込む場合

(2) 播種 ～各品種の特性に合わせ、適期に適量播種しましょう～

播種深は3～4 cmとし、出芽を安定させるため適正な播種深となるよう、作業前にゲージ輪が地面に着いた状態で調整しましょう。乾燥時にはやや深めに設定し、播種後に降雨予想があるときはやや浅めに設定します。

表2 品種別播種様式

| 品種名 | | 播種期 | 播種量 kg/10a | 条間 | 株間 | 栽植本数 本/10a |
|--------|--------|-------|---------------|----------|-------|---------------|
| タチナガハ | 標 播 | 5月下旬～ | 3.3～4.4 | 75～80 cm | 20～ | 10,000～ |
| すずみのり | | 6月上旬 | 3.6～4.8 | | 25 cm | 13,300 |
| ミヤギシロメ | | | 3.8～5.1 | | | |

※播種量は百粒重：タチナガハ 38g、すずみのり 36g、ミヤギシロメ 42g で算出

(3) 雑草対策 ～適正な碎土率で土壤処理剤の効果を高めましょう～

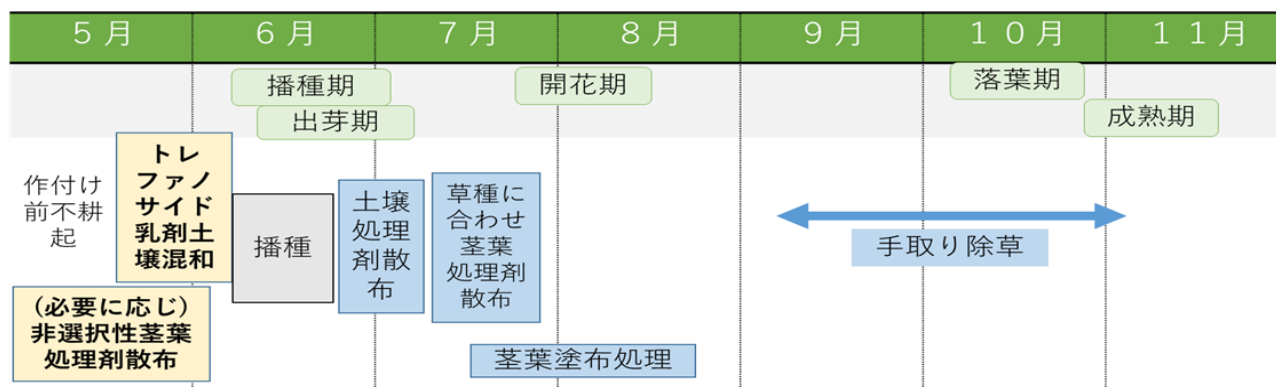
近年、雑草の発生が目立つほ場が増え、特に難防除雑草（帰化アサガオ類、アレチウリ等）の発生が多くなっています。発生している草種や発生量に合わせ体系防除に取組み、雑草の発生を抑えましょう。

①播種前体系処理

前年、帰化アサガオ類など難防除雑草の発生が多かったほ場では、飛散に注意し非選択性除草剤処理とトリフルラリン乳剤（トレファノサイド乳剤）の播種前全面土壤混和処理を行う体系処理を行いましょう。

※農薬は使用前に、必ずラベル記載の登録内容を確認し、農薬使用基準を守って使用してください。

図2 雑草防除の体系例



②土壤処理（播種直後）

土壤処理剤は適正な碎土率（70%程度）を確保し播種直後に散布しましょう。

碎土率が高すぎると播種後の降雨とその後の乾燥でクラストが発生し、出芽不良やその隙間から雑草が発生します。

※碎土率 70%：直径 2 cm 以下の土塊の割合が 70%（直径 3 cm 以上の土塊がない程度）



図3 碎土率が低いほ場での雑草発生イメージとクラストからの雑草発生の様子

(4) 中耕・培土 大豆の生育状況や雑草の発生状況を見ながら実施しましょう

初生葉節が隠れる高さまで培土すると「不定根」が発生し、生育促進、倒伏防止、増収の効果や土壌通気性・排水性の改善、除草等の効果があります。

ただし、高い培土を一度に行うと断根や土壌の通気性を悪化させるので、大豆の生育に応じて2回程度に分けて実施しましょう。

①普通栽培

1回目：本葉2～3葉期に子葉節が隠れる高さまで

2回目：6～7葉期に初生葉が隠れる高さまで

②晩播栽培（麦後）

本葉5～6葉期に子葉節が隠れる高さまで

培土は大豆の根元が低くなるM字型にならないように土を寄せましょう

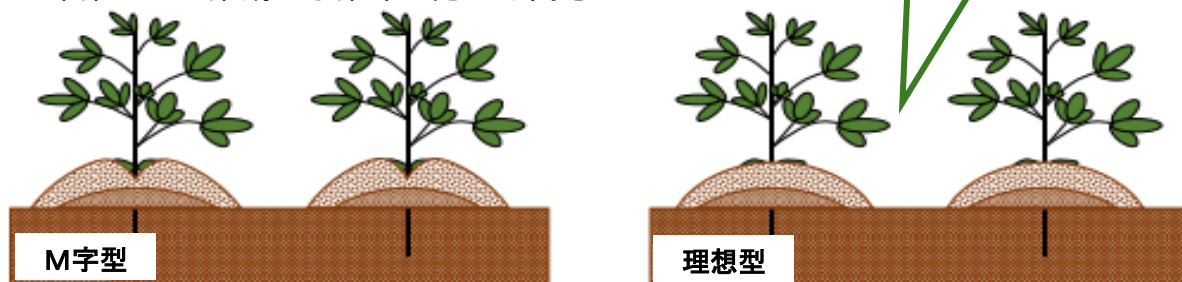
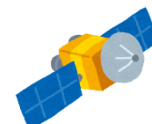


図4 中耕培土の模式図

農作業安全確認運動展開中 令和8年3月1日から6月30日まで
県スローガン【徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策】



宮城 RTK システム利用申し込み受付中！



RTK システムを活用してより正確な農作業を行いましょう！

1 利用方法 宮城県 HP を確認してください。(宮城県RTKで検索)

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosin/rtk-system.html>

2 申し込み期限: 毎月20日 通年で受け付け

※利用期限の約1週間後に ID・パスワードをお知らせ

3 契約期間: 利用契約日から令和10年3月31日まで

(契約日は申込月の翌々月1日となります)

4 負担金

| ID 発行数 | 年間負担金額 | 利用期間の区切 |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 発行1つ目(1台目) | 20,000円(税込)/台 | 4月1日から翌年3月31日 (年度単位) |
| 発行2つ目以降(2台目以降) | 10,000円(税込)/台 | |

5 申込方法

電子申請サービスから申し込み(宮城県 HP をご覧ください)

6 問い合わせ先

①電子申請フォーム入力に係る問い合わせ

宮城県農業振興課 TEL:022-211-2833

②RTKシステム全般に関する問い合わせや相談

(公社)みやぎ農業振興公社 TEL:022-342-8380(RTK 受付)